

2023年度 湘南ヘルスイノベーションパークの環境保全に関する連絡会議議事要録

日 時 2023年(令和5年)6月27日(火)15時00分から

場 所 湘南ヘルスイノベーションパーク会議室

出席者 村岡地区自治町内会連合会、小塚東町内会、高谷町内会、宮前町内会、渡内北町内会及び渡内西町内会の代表

アイパークインスティテュート株式会社社員、株式会社KJRマネジメント社員

藤沢市役所 村岡公民館及び環境保全課職員

議題・内容

1 あいさつ

町内会、藤沢市、湘南ヘルスイノベーションパークの代表者あいさつの後、次第にしたがって進められました。

2 議題

(1) 藤沢市からの報告

環境保全に関する協定書の改定について説明をしました。3月に地域回覧によりお知らせしたところですが、これまで武田薬品工業株式会社と三井住友信託銀行株式会社と藤沢市で協定を締結しておりましたが、運営管理部門の分割により運営体制に変更が生じることとなったため、武田薬品工業株式会社に代わりアイパークインスティテュート株式会社との締結といたしました。なお、環境保全に関する内容についての変更はありませんので、これまでどおりの基準で管理運営していただきます。

市民団体一団体から湘南ヘルスイノベーションパークとの運営体制や安全対策に関するご質問・ご要望をいただいております。湘南ヘルスイノベーションパークおよび市から回答しております。

市議会では、陳情・請願は無く、9月の決算特別委員会及び3月の予算等特別委員会で質問がありました。主な内容は、連絡会議の開催状況や立入検査の実施状況のほか、環境安全対策は大丈夫か、広く市民も参加する安全協議会を設置すべきとの質問がありました。

主な答弁内容は、連絡会議については、連絡会議は地元町内会のご協力を得て湘南ヘルスイノベーションパークと藤沢市とで開催していることをお答えしております。

立入検査については、責任体制のほか、環境保全に関する協定における事業者の責務、防災環境パトロールの記録、安全衛生・環境保全教育実施の記録や排水測定記録等につきまして、帳簿等により確認、検査を行い、適切に運営管理が行われていることを確認していることをお答えしております。

もっと広く市民が参加する安全協議会の設置については、現在、連絡会議という形で周辺町内会の皆さんと意見交換しコミュニケーションを図っており、その内容について関係町内会への回覧や、市政情報コーナーへ配架して誰もが閲覧できるよう情報公開に努めている中、湘南ヘルスイノベーションパーク様自身も、市民の皆様の質問に答えるなどコミュニケーションに努めておりますので、現状の連絡会議で丁寧に対応していくことをお答えしております。

議会では、安全について多くの質問がありましたので、今後とも市としましては、こちらに記載のとおり、住民の皆様にご安心いただけるよう、立入検査等を通して安全について確認してまいります。

藤沢市環境保全課による立入検査については、安全管理体制、湘南ヘルスイノベーションパークの利用規約の確認、防災環境のパトロール記録や安全教育内容、法令に基づく測定結果等を検査した結果、施設の安全体制は確保できていることを確認しております。

(2) 湘南アイパークからの報告

1) 2022年度「環境測定結果報告」

環境保全協定に記載されている環境5項目の測定スケジュールを記載しています。排水は月に1回、排気はガスエンジンとボイラーがあり、年2回9月と3月に測定しています。騒音振動については年4回5月、8月、11月と2月に敷地境界線で測定しています。臭気については、年1回、最も暑く臭いが強い8月に敷地境界線で測定しております。

排水は毎月測定しておりますが、最大値と最小値を記載しております。有機物、重金属については緑枠が目標管理値ですが、管理目標の中に納まっています。なお、銅と亜鉛が管理目標値近くなることがありました。これは、空調設備の洗浄水による影響と考えており、今後は影響の無いよう管理してまいります。水銀や塩素系の有機溶剤についても管理目標値を超えることはありませんでした。

排ガスについては、ボイラー・ガスエンジンのばいじん・窒素酸化物を測定しています。すべて管理目標値以下でした。運転停止中の設備については、修理が完了後排ガス測定を実施し問題ないことを確認後に稼働いたします。

騒音については、敷地境界線6か所で年4回、朝、昼、夕と夜の4つの時間帯に測定しております。8月に3か所で蟬の鳴き声による超過がありましたが、アイパークに起因する騒音ではありません。

振動については、敷地境界線6か所で年4回、昼と夜に測定しており、こちらもすべて管理目標値以下でした。

臭気については、敷地境界線4か所で臭気指数の測定をしております。管理目標以下でした。

地下水については、フッ素、ヒ素、六価クロム、鉛の4項目について地下水のモニタリングを行っています。サンプリング箇所は敷地を取り囲むように10か所で、年に4回4月、7月、10月、1月に測定をおこないました。結果は六価クロムと鉛については、すべての箇所で検出限界未満でした。ヒ素については1か所だけ検出はされましたが、地下水基準以下で問題ありません。全体として過去数年間、数値に変化はありません。引き続きモニタリングを行ってまいります。フッ素については、4か所で基準超過が見られました。アイパーク建設時との比較では、変動は無く地下水として安定している状態です。地下水の環境基準値は、井戸水を毎日2L、70年間飲み続けて健康に影響があるレベルとして設定されておりますので、井戸水を大量に飲まなければ健康に問題ありませんのでご安心いただければと思います。今後も測定値をモニタリングして数値の上昇などの兆候があれば対策を行う予定です。フッ素については、建設時の環境アセスメントで自然由来と推察されております。

2) 湘南ヘルスイノベーションパークの近況

4月よりアイパークインスティテュート株式会社として独立しました。さらに生命科学関連の企業に集まっていたいただき、エコシステムを作ってより発展していければと考えております。

現在のアイパーク入居、入会状況ですが、最新の情報で、入居104、入会（メンバーシップとしてアイパークの活動に参加している会社）が60、合計164です。約2400名でコミュニティが作られています。製薬企業が元々のベースですが、そこに新たにベンチャー企業が生まれたり、さらに次世代の治療法である再生医療などの研究者の方たちもいらっしやいます。そのような研究を支援する会社、ビジネスを支援する会社、さらには機器、AI、ロボット、といった会社もあり、非常に多岐にわたっております。

5月27日（土）に5周年の記念行事として湘南アイパークフェスタを実施しました。約7000の方が来訪され、開所以来の大盛況なイベントになりました。当日は科学をいかにお子さん達に親しんで頂くかに焦点を当て、人気ユーチューバーの科学実験の講演、入居各社から、お子さんにとって面白い実験ブースをブロードウェイ沿いに多数出展いただきました。また高谷町町内会のおみこしも出展して頂きました。

さらに、研究者の方と地元の皆さんのコミュニケーションを深める試みとして、すごろくをオリジナルで作製し、研究者と地域の方々が交じり合ってゲームを楽しんでいただきました。地域から参加頂いた方々からも、研究者の方たちも互いに交流していきたいという思いが芽生えてきたという感想をいただきました。

神奈川県、藤沢市、鎌倉市、湘南鎌倉総合病院さんとのエリアをヘルスケアの研究の最先端拠点にしていきたいということで結んだ5者連携の活動を紹介します。地域にお住まいの皆様にとって、最新のヘルステクノロジーを享受できるような場所にしていきたいという活動しております。昨年秋にはヘルスケアMa a Sの実証実験を行いました。今年も12月はじめに予定しています。

ボランティア清掃につきましてはコロナで中断していましたが、昨秋に再開し、5月の5周年イベント前にも行いました。参加頂ける企業も増えています。6月にはトルコ・シリア地震チャリティー上映会も行いました。海難 1890 というトルコと日本の心の絆を描いた映画を上映し、集まった義援金を寄付することができました。このような活動も今後でもできる範囲で継続していければと考えております。

3 質疑

町内会：環境となると、これだけの緑があり、池もあります。芝生もきれいで、木の伐採も定期的におこなって頂いていると思いますが、鳥など野生生物が住めるような環境にして頂ければと思います。また、池は広いと思いますが、何か動物はいるのでしょうか。

アイパーク：魚などは確認していません。

町内会：広い池があるので、渡り鳥の飛来等、環境に配慮した企業であるところを望みます。次に、今までは花見があったり、お祭りがあったり、イルミネーションが

ありました。状況をみながら復活して頂ければと思います。また、地域にお住まいの従業員の方への町内会入会の後押しもして頂きたい。

アイパーク：検討いたします。

町内会：町内会に入会して頂けると災害時に、お互いに助け合うことができ、お互いに生き延びていくために助け合うと、それが自治会なので、ぜひ未加入の方には背中を押して頂きたい。地域とのつながりを作っていきたい。
また、町内の方からのご要望ですが、アイパーク西側の林の中にどうやら鎌倉古道があったのではないかとということで、そこをぜひ歩かせて頂けないかご検討ください。

アイパーク：テナントの連絡会などで自治会、町内会への加入を奨励する。
西側の敷地の解放は以前行っていたので、再開するかどうか検討する

町内会：地下水の測定結果のところ、地下水には管理目標はありますか。

アイパーク：管理目標は、環境保全協定の中に地下水の項目というものはございません。協定に設定していませんが、測定を行っております。地下水の基準をオーバーしているものがありますので、モニタリングを続けてその数値をご報告しているものです。基準値は法律で決まっております地下水の基準で、アイパークでもこの基準で管理しています。

町内会：地下水の基準を上回っている要因を教えてください。

アイパーク：フッ素は、海水などに含まれており、アイパークのこの土地は昔は海だったこともあり、その影響で地下水にフッ素が含まれています。このフッ素については地上に出ていくということではありませんので、もし健康に影響があるとするれば、井戸水を飲んでいる方が考えられますが、大量に飲まないように注意して頂ければ、影響ないと思われまます。フッ素に関しては今後もモニタリングして、急激に増えることがあれば対策を検討したいと思えます。

アイパーク：数値自体は2011年当時からの数値のまま基本的には変化はありません。建築時の調査結果から、自然由来のものだろうということは推測されているところです。この施設からフッ素が大量に流されて、それが地下に浸透した場合はこの地下水の数値が上がると考えられますので、施設から流れ出たものではないと考えられます。一方で先ほどの基準値に関しては、この施設から実験等により排出されるものについては基準値を設けてその排水排ガスはすべてモニタリングしていますので、ここの研究活動に伴うものに関しては、チェックしております。

町内会：地下水の基準の設定について、基準値とは別の数値で管理する事は考えていますか。

アイパーク：法律の基準で管理したいと考えています。

町内会：市としてはどう考えてますか。

藤沢市：市としては、この数値が変化していないことに注目しております。企業側からの何かしらの漏洩があった場合、地下水への影響も考えられ、当然数値も上がってきますが、観測以来変化がなく、調査で自然由来となっておりますので、今後もモニタリングの数値を見据えて監視していきたいと思っています。

町内会：地域の住民のみなさんに、自然由来という説明で分からない方がいましたら、またアイパークさんから説明して頂くということにしましょう。

アイパーク：報告の方法に関しては検討させていただきます。

以上